

環境まちづくり実施報告書

様式3

令和 6 年 11 月 29 日 (2024 年)				
吹 田 市 長 あて		住所 東京都港区虎ノ門二丁目10番4号 株式会社 日本エスコン ※注1 氏名 代表取締役 伊藤 貴俊 事業所 電話 (06) 6223 - 8060		
受 付 番 号	第04-L-02号			
事 業 の 名 称	(仮称)吹田市藤白台3丁目プロジェクト			
対 象 事 業 区 域	吹 田 市 藤白台3丁目119番90			
※注1 設 計 ・ 代 理 者	住 所 大阪市中央区南本町3-2-1 株式会社 D&D建築設計事務所 氏 名 岡本 正仁 電 話 () - (担当者:)			
※注1 工 事 施 工 者	住 所 大阪府大阪市中央区博労町2-2-13 大阪堺筋ビル7階 大豊建設株式会社大阪支店 氏 名 常務執行役員支店長 浅田 潤一 電 話 (06) 6105 - 0160			
事 業 予 定 期 間	令和 5 年 (2023 年) 6 月 14 日 から 令和 6 年 (2024 年) 10 月 18 日 まで			
事 業 の 規 模		計 画 部 分	既 存 部 分	合 計
	対 象 事 業 面 積	6,264.37 m ²	0.00 m ²	6,264.37 m ²
	建 築 面 積	1,917.82 m ²	0.00 m ²	1,917.82 m ²
	延 べ 面 積	11,118.44 m ²	0.00 m ²	11,118.44 m ²
	最 高 の 高 さ	24.78 m		
	構 造 ・ 階 数	鉄筋コンクリート 造・一部 造		
		地 上 8 階 ・ 地 下 1 階		
事 業 の 目 的 ・ 内 容	区分	☒ 新 築 ☐ 増 築 ☐ 改 築 ☐ 新 設 ☐ 増 設		
	☐ 開発行為事業(目的 :) ☒ 建築物の新築又は増改築の事業 (☐ 工 場 ・ 事 業 場 ☐ 住 宅 ・ 共 同 住 宅 (戸)) ☐ 商 業 施 設 ☐ 事 務 所 ☐ 公 共 的 建 築 物) ☐ そ の 他 ()) ☐ そ の 他 ())			
	受 付			
環 境 ま ち づ く り の 内 容	ガイドライン取組事項チェックリストによる			
添 付 書 類	・ガイドライン取組事項チェックリスト ・工事関連車両通行ルート図 ・その他必要と認める図書			
第 号				

注1 法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針	経営戦略の一つに、『ESG推進による社会課題への対応』という目標を掲げており、一企業として、事業活動を通じて地域社会に貢献する必要があると考えています。 当社はこれまでも環境への配慮や地域社会への貢献、客観性・透明性のある経営体制の構築に取り組んできました。 分譲事業では、環境に配慮したマンションづくりの促進としてZEH-M(ゼッチ・マンション)の開発に取り組み、進めております。また、中部電力株式会社との資本業務提携によるシナジー効果として、次世代型スマートハウス、コネクティッドホーム等の共同研究の実施などを行い、暮らしの環境エネルギー、AI等の活用による次世代の街づくりにも取り組んでいきたいと考えています。
----------	--

当該事業における環境まちづくり方針	省エネルギーによる環境負荷低減に努め周辺環境との調和に配慮したマンションづくりを行います。 計画においては敷地内緑化に努め、建設時には廃材の分別リサイクルに努めます。
-------------------	--

1. 実施率と主な実施内容

1-1. 工事中

実施率

100

パーセント

(小数点第2位以下切り捨て)

実施した・一部実施したの項目数

=

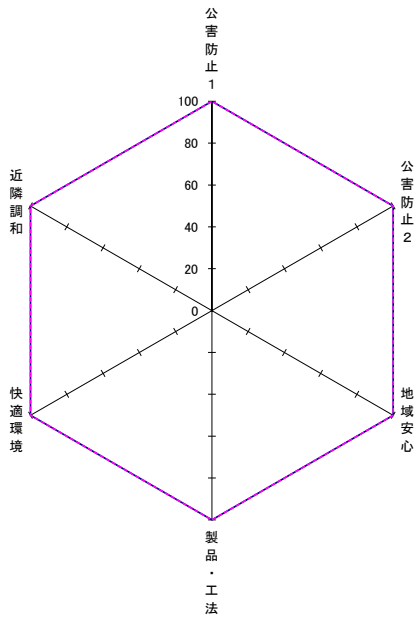
51

該当なしを除いた項目数

=

51

---:方針, -:実施報告書



実施報告書	公害防止 1	公害防止 2	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
	20	13	5	3	5	5
方針	公害防止 1	公害防止 2	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
	20	14	5	3	5	5

主な実施内容

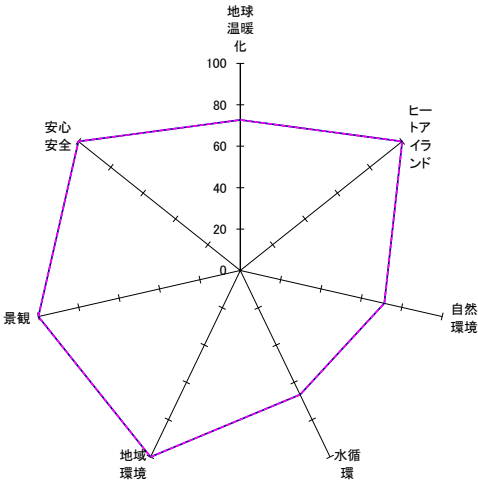
排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設機械を使用しました。
排出ガス、騒音の低減を図るため、アイドリングを行いませんでした。
空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しました。
一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準化を図りました。

環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設・設備等

実施率	86	パーセント	実施した・一部実施したの項目数	=	37
	(小数点第2位以下切り捨て)		該当なしを除いた項目数		43

---:方針, -:実施報告書



実施報告書	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
	8	2	5	2	9	4	7
	11	2	7	3	9	4	7

方針	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
	8	2	5	2	11	4	7
	11	2	7	3	11	4	7

主な実施内容

(1) 省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入		CO2削減量		51.4		t-CO2/年	
導入内容							
全127戸すべての住戸に給湯効率95%のエコジョーズを採用しました。また共用部照明にLED照明(154台)を採用しました。また空調に関しては共用部にAPF5.1~5.8の高省エネ機器を5台(内4台は室外機2台にてマルチ運転)の採用しました。							
(2) 緑地面積		緑化率		25.7		%	
				条例基準分		25.0 %以上	
実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)							
東側道路に面する避難通路には芝貼り(63㎡)、平屋部分にはプランター(3.5㎡)の設置等を行いました。							
(3) 雨水利用		雨水貯留量		275.0		t	
				うち雨水利用量		t	
利用目的		【 ☐ 植栽水やり ☐ トイレの流し水 ☐ 洗車 ☐ その他 {					
(4) 上記以外の主な実施内容							
大阪府建築物の環境配慮制度においてCASBEEランク:B+ランク取得し、その評価結果を大阪府建築物環境性能表示制度により広告物などに表示しました。 住戸窓にはペアガラスを採用し断熱性能を向上させることで、建築物のエネルギー負荷を抑制しました。(断熱等性能等級4を取得しました) 再配達によるエネルギー消費を減らすため、集合住宅には宅配ボックスを設置しました。							

2. 方針からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

3. その他(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。)

EV用充電設備を10台分設置しました。

● 工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
大気汚染や騒音などの公害を防止します。		
建設機械		
1 低公害型建設機械の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設機械を使用しました。
2 低燃費型建設機械の使用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	市場に流通している台数が少ないため、できる限り使用しました。
3 アイドリングの禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス、騒音の低減を図るため、アイドリングを行いませんでした。
4 環境に配慮した運転	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
5 稼働台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しました。
6 工事の平準化	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準化を図りました。
7 機械類の整備点検	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	機械類は適切に整備点検を行いました。
工事関連車両		
8 低公害、低燃費車の使用	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	燃費や排出ガス性能のよい車両については市場流通台数に限りがあるため、できる限り使用しました。
9 大阪府条例に基づく流入車規制の遵守	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	大阪府条例の流入車規制は廃止されましたが、工事関連車両については、この条例に準ずる形で全ての車両で確実に遵守しました。
10 工事関連車両の表示	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両であることを車両に表示しました。
11 周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設定	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立地状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避けて設定しました。
12 建設資材の搬出入における車両台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車両台数を抑制しました。
13 通勤等で利用する車両台数の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	作業従事者の通勤、現場監理などには、徒歩、二輪車、公共交通機関の利用、相乗りなどを奨励し、工事関連の車両台数を抑制しました。
14 土砂の積み降ろし時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際は、騒音、振動や土砂の飛散防止に配慮しました。
15 タイヤ洗浄	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現地でタイヤ洗浄を行いました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
16	ドラム洗浄時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際は、騒音や水質汚濁に配慮しました。
17	場外待機の禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両を場外に待機させませんでした。
18	クラクションの使用抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	クラクションの使用は必要最小限にしました。
19	アイドリングの禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
20	環境に配慮した運転	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
工事方法 騒音・振動等			
21	防音シートなどの設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設作業時は、仮囲いと養生シートを設置しました。なお、必要に応じて防音シートや防音パネルの設置等、さらなる防音対策を行いました。
22	丁寧な作業	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行いました。
23	騒音や振動の少ない工法の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない工法を採用しました。
24	近隣への作業時間帯の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行いました。
粉じん・アスベスト			
25	粉じん飛散防止対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺への粉じん飛散を防止するため、掘削作業、土砂等の堆積場の設置等を行った際は、散水等の粉じん飛散防止対策を行いました。
26	アスベストの調査など	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	解体工事が無いため。
27	アスベスト飛散防止対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	解体工事が無いため。
水質汚濁・土壌汚染・地盤沈下			
28	濁水や土砂の流出防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	道路などへの濁水や土砂の流出を防止しました。
29	塗料などの適正管理及び処分	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は適正に処分しました。
30	土壌汚染対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	法令に基づく地歴調査の結果、汚染のおそれはなかったため。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
31	地盤改良時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	セメント及びセメント系改良剤を使用する地盤改良の際は、六価クロム溶出試験を実施し、土壌や地下水を汚染しないよう施工しました。
32	周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用しました。
悪臭・廃棄物			
33	アスファルト溶解時の臭気対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮、溶解温度管理など臭気対策を行いました。
34	現地焼却の禁止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	現地では廃棄物などの焼却は行いませんでした。
35	解体時の環境汚染対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	解体工事が無いため。
36	仮設トイレ設置時の臭気対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	仮設トイレを設置する場合は、適切なメンテナンス、設置場所の配慮などにより臭気対策を行いました。
37	産業廃棄物の適正処理	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設工事から生じる産業廃棄物は、適正に処理を行いました。
地域の安全安心に貢献します。			
38	地域との連携における事故の防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取りを行い、十分な人数の警備員を配置し事故防止に努めました。
39	児童などへの交通安全の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に配慮しました。
40	夜間や休日の防犯対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出入口を施錠するなどの対策を講じました。
41	児童などへの見守り、声かけ	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけなどに取り組みました。
42	地域の防犯活動への参加	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣自治会などと連携し、地域の防犯活動に参加しました。
環境に配慮した製品及び工法を採用します。			
省エネルギー			
43	エネルギー消費の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	エネルギー効率のよい機器の利用などにより、工事中に使用する燃料、電気、水道水などの消費を抑制しました。
省資源			
44	残土発生の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制しました。
45	廃棄物の減量	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量しました。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
快適な環境づくりに貢献します。		
景観		
46 仮囲い設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮しました。
47 仮設トイレ設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所などを工夫しました。
周辺的环境美化		
48 周辺道路の清掃	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を行いました。
49 場内整理	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材、廃棄物などの場内整理を行いました。
ヒートアイランド現象の緩和		
50 打ち水	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	夏期において水道水を確保し、周辺道路などに打ち水を行いました。
地域との調和を図ります。		
工事説明・苦情対応		
51 工事内容の事前説明及び周知	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また工事実施中も適宜、現況と今後の予定をお知らせしました。
52 苦情対応	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事に関する苦情窓口を設置し連絡先などを掲示するとともに、苦情が発生した際には真摯に対応しました。
周辺の教育・医療・福祉施設への配慮		
53 工事内容の事前説明及び工事計画の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	藤白台小学校に対して、工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明するとともに、施設での行事や利用状況に配慮した工事計画にしました。
54 騒音、振動などの配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	藤白台小学校に対して、騒音、振動、通風、採光などに特段の配慮をしました。
周辺の事業者との調整		
55 複合的な環境影響の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域における大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施行者などと連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整するように努めました。

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温暖化対策を行います。		
56 大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建築物環境性能表示制度の活用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	大阪府建築物の環境配慮制度においてCASBEEランク:B+ランクを取得し、その評価結果を大阪府建築物環境性能表示制度により広告物などに表示しました。
57 ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)、ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)設計	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	年間1棟のZEH-M取得を目標としており、他物件にて取得予定なので、企業全体の事業採算上、今回は実施ませんでした。
58 高効率及び省エネルギー型機器などの採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	全127戸すべての住戸に給湯効率95%のエコジョーズを採用しました。また共用部照明にLED照明(154台)を採用しました。また空調に関しては共用部にAPF5.1～5.8の高省エネ機器を5台(内4台は室外機2台にてマルチ運転)の採用しました。
59 再生可能エネルギーの活用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	事業採算上、本物件では再生可能エネルギーの活用はしませんでした。
60 エネルギー効率の高いシステムの導入	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	全127戸すべての住戸に給湯効率95%のエコジョーズを採用しました。また空調に関しては共用部にAPF5.1～5.8の高省エネ機器を5台(内4台は室外機2台にてマルチ運転)の採用しました。
61 エネルギーを管理するシステムの導入	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	事業採算上、本物件ではエネルギー管理システムの導入はしませんでした。
62 冷媒漏えい(使用時排出)の防止	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを冷媒として使用する装置を有する設備(空調機器、冷蔵冷凍庫など)を設置する際には、設置後に配管などからの冷媒の漏えい(使用時排出)が発生しないように設計しました。
63 建築物のエネルギー負荷の抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	住戸窓にはペアガラスを採用し断熱性能を向上させることで、建築物のエネルギー負荷を抑制しました。(断熱等性能等級4を取得しました)
64 長寿命な建築物の施工	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	基本構造の耐久性を高め、長寿命の建築物を施工しました。
65 環境に配慮した製品の採用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	原料にリサイクル材を使用したインターロッキングブロック(97㎡)を採用しました。
66 宅配ボックスの設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	再配達によるエネルギー消費を減らすため、集合住宅には宅配ボックスを設置しました。
ヒートアイランド対策を行います。		
67 建物屋根面、壁面の高温化抑制	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	高反射率塗料の塗布(947㎡)により建物の屋根面の高温化を抑制しました。
68 地表面の高温化抑制	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	事業採算上、ターフパーキングは採用を見送りました。その他、東側道路に面する避難通路には芝貼り(63㎡)、平屋部分にはプランター(3.5㎡)の設置等を行いました。
自然環境を保全し、みどりを確保します。		
69 動植物の生息や生育への配慮	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	東側道路を挟んだふじのき公園との連続性を考慮し、東側道路沿いに中高木を植樹しました。また、南側遊歩道との緑の連続性を考慮し、敷地南側に中高木を植樹し、動植物の生息や生育環境に配慮しました。
70 地域のシンボルツリーの保全	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	地域のシンボルとなっていた大きな樹木は、できるだけ伐採を避け、既存の植生や地形を活かして設計しました。
71 既存の植生の保全	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	敷地北側の既存樹木(3本)を保存しました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
72	地域に応じたみどりの創出	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	東側道路を挟んだふじのき公園との連続性を考慮し、東側道路沿いに中高木を植樹しました。また、南側遊歩道との緑の連続性を考慮し、敷地南側に中高木を植樹し、地域に応じた創意工夫によりみどりを創出し、良好な景観や生物の生息空間の形成に努めました。
73	駐車場緑化	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	機械式駐車場が多いため駐車場緑化は実施ませんでした。平面駐車場については、耐圧20t以上確保のため実施しておりません。
74	屋上緑化など	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	メンテナンスが難しいため屋上緑化は実施ませんでした。
75	法面緑化	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	開発にて法面は発生しませんでした。
76	植栽樹種の選定	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	植栽樹種は、地域の環境に合わせた樹種を選定しました。
水循環を確保します。			
77	水資源の有効利用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☒ 実施しない ☐ 該当なし	事業採算上、今回は実施しませんでした。
78	雨水流出を抑制する施設の設置	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	事業区域の面積に応じて、雨水流出を抑制するために雨水貯留槽(275t)を設置しました。
79	雨水浸透への配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	東側道路からのサブエントランス出入口付近に吹田市の灰溶融スラグ入り保水性インターロッキングブロック(97㎡)を採用する計画をしていましたが、事業採算上、採用を見送りました。雨水浸透を考慮し、東側道路に面する避難通路には芝貼り(63㎡)を行いました。
地域の生活環境を保全します。			
大気・騒音・振動等			
80	騒音や振動を発生させる設備設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空調機などの騒音や振動を発生させる設備の設置においては、低騒音型機器の採用、壁などの遮音性の確保、設置場所に配慮するなど、騒音や振動対策を行いました。
81	住宅における防音サッシ等の設置	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	近くに幹線道路や鉄道がなく、騒音の影響が考えられない住宅のため。
82	駐車場の配置計画時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場の設置については、住居に隣接しない計画とするなど近隣に配慮した計画としました。
83	近隣への悪臭及び騒音の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣への悪臭、騒音などを防止するため、窓、換気扇、排気口の位置、廃棄物置場の構造などに配慮しました。
84	ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	ボイラーなどの機器設置がないため。
85	屋外照明や広告照明設置時の配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	屋外照明については、近隣住民に対する光の影響を抑制しました。
86	建築資材による光の影響の考慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建築資材(ガラスなど)による太陽の反射光については、設置の際に光の影響を考慮しました。
87	環境に配慮した塗料の使用	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用しました。
88	周辺の教育、福祉や医療施設への配慮	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	藤白台小学校に対して、騒音、振動、通風、採光などに特段の配慮しました。

取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
中高層建築物(高さ10メートルを超える建築物)		
89 日照障害対策	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	日照障害については、建築基準法の日影規制対象外地域(商業と工業地域を除く)を含めた地域についての日影図を作成し、発生する範囲を事前に把握し、近隣住民に説明するとともに、できる限りその軽減をしました。
90 電波障害の事前把握及び近隣説明	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	電波障害の発生が想定される範囲を、現地調査、机上計算、影響範囲図作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明しました。
91 電波障害発生時の改善対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	電波障害は発生しませんでした。
92 プライバシーの配慮	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	近隣住民のプライバシーを侵害するものではありませんでした。
景観まちづくりに貢献します。		
93 地域への調和	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう配慮しました。
94 景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画及び設計	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画と設計を行いました。
95 景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画と設計を行いました。
96 重点地区指定に向けた協議	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	1haを超えないため。
97 景観形成基準の遵守	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進しました。
98 屋外広告物の表示などに関する基準の遵守	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☒ 該当なし	屋外広告物の設置がないため。
安心安全のまちづくりに貢献します。		
99 歩行者が安全に通行できる工夫	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺状況に応じ、計画地内において出入口を歩車分離にするなど歩行者が安全に通行できる工夫をしました。
100 災害に対する建築物・工作物の強靱性を高める取組	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	耐火等級4(開口部以外の部分、界壁及び界床の部分)を取得しました。
101 災害時の自立性を維持する取組	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	在宅避難を可能とするため、各住戸に防災倉庫を設置しました。
102 災害時に備えた地域等との連携に関わる取組	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	自主防災組織の結成について管理組合に引き継ぎます。
103 災害時の避難や救助等の応急対応に関する取組	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	エレベーター内に緊急連絡装置を設け、閉じ込め対策を行いました。災害時の防災対策や緊急時に対応できるよう、共用部に防災備蓄倉庫を設け、バール、ジャッキ、ハンマーなどを設置しました。
104 犯罪を発生させない都市(まち)づくりに関する取組	☒ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	防犯カメラを設置し、犯罪を発生させない都市(まち)づくりに関する取組を行いました。
105 犯罪に備えた地域等との連携に関わる取組	☐ 実施した ☒ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	自主防災組織の結成について管理組合に引き継ぎます。